



平成23年1月31日

各 位

会 社 名 株式会社ウイル
 代 表 者 名 代表取締役 岡本 俊人
 (コード番号：3241)
 問 合 せ 先 取締役総務グループマネージャー
 役職・氏名 栗野 泉
 電 話 0797-74-7272

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年12月期通期業績予想数値の修正（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,243	126	64	62	円 銭 5,497 72
今回修正予想 (B)	2,595	168	102	89	7,956 31
増減額 (B - A)	△648	42	37	27	—
増減率 (%)	△20.0	33.1	58.3	44.7	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年12月期)	4,066	50	△36	△132	△11,716 40

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,066	68	61	59	円 銭 5,252 82
今回修正予想 (B)	2,474	99	89	77	6,858 93
増減額 (B - A)	△591	30	28	18	—
増減率 (%)	△19.3	44.7	47.2	30.6	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年12月期)	3,659	△3	△52	△162	△14,408 10

2. 業績予想修正の理由

当連結会計年度におきましては、事業収益構造の再構築による収益力の強化と、経営基盤の安定化を必須の経営課題と認識し、フィービジネス並びにリフォーム事業に経営資源を集中させ、これらの総売上高に占める割合を高めて収益性の向上を図りつつ、一方で開発分譲事業の規模を抑制することにより、たな卸資産及び有利子負債の圧縮による財務リスクの軽減に取り組んでまいりました。

その結果、連結売上高につきましては前回発表予想を648百万円下回り2,595百万円となる見込みであります。営業利益は42百万円増加して168百万円に、経常利益は37百万円増加して102百万円に、当期純利益は27百万円増加して89百万円となる見込みとなり、収益面においては当初の想定を上回る改善を

図ることができました。

売上高減少の主たる要因といたしましては、開発分譲事業における販売計画の進捗に遅れが生じたことによっております。具体的には、戸建分譲物件12戸、分譲マンション物件5戸が計画に対して未達となり、同事業の売上高は前回発表予想より659百万円減少して1,314百万円となる見込みです。

しかしながら、事業収益構造の見直しにより強化してまいりました流通事業及びリフォーム事業の売上高に関しましては、流通事業において前期比48.1%増の523百万円、リフォーム事業において前期比36.5%増の594百万円と両事業ともに過去最高額を更新するに至り、これに伴い営業利益率においても流通事業は43.7%（前期22.1%）、リフォーム事業は18.4%（前期14.5%）と大きく改善に寄与しております。

また、販売費及び一般管理費につきましても、徹底した固定経費の抑制に努めてまいりました結果、計画に対し15.6%減となる見込みであり、流通事業及びリフォーム事業の売上増加に伴う利益率改善と合わせて、営業利益、経常利益及び当期純利益が増加する要因となっております。

なお、個別業績予想におきましても同様の理由により修正を行っております。

以上

ご注意：上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。